



ハコミセとは？～ハコミセの巡り～

商店街各店舗の、自店舗以外で売られている商品の一部を陳列してあり、商店街を巡る空間のことを「ハコミセ」と呼ぶ。ハコミセは、各店舗に一つずつある「ハコアナ」に取められる。



ハコアナには両サイドに隙間があるスロープがあり、ハコミセ車輪を滑らせる仕組みとなる。ハコミセが収まっているときは、スロープを渡る店舗の出入口となる。

たとえば…八百屋さんのハコアナに、同じ商店街の服屋さんの品物が陳列されたハコミセが収納されているとする。すると、八百屋さんで買い物しながら気軽に服屋さんの商品を見れる。また、このとき、八百屋さんの野菜や果物が並べてあるハコミセも、商店街のどこか他のお店のハコアナに収まっているので、そのお店の商品を見ながら、八百屋さんのハコミセの野菜・果物を見たり試食したりできる。

ハコミセは、商店街のすべての店が閉店した夜に店主らによって一斉に入れ替えられ、次の日には違ったお店のハコミセが収まっているので、ハコミセは毎日いろんなお店を巡る。お目当ての店舗からハコミセへ目移りするのもあり、逆に店舗内にあるハコミセをお目当てに訪れるのもあり。自分が持てなかった新しい世界観が見つけれられるだろう。

ハコミセが外に出ている時のハコアナ

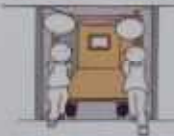


平日(一区画)の立面図



ハコミセの使い道～人の回り～

ハコミセの入れ替えは平日のみ。ランダムに入れ替わる。この商店街にはアパレル店が多いため、メンズ・レディースのハコミセが入れ替わることで、ジェンダー関係なく買い物を楽しめる！



土日はハコミセ同士を、歩行者天国の歩道に並べて合体させる。つながったハコミセ空間を自由に巡ることができる。

店舗間もハコミセによって、他店舗がどんなもの売っているのか知ることができる。入れ替え時に生まれる店舗同士で交流で、店同士の連携や商店街全体の活性化を促せる！

～めぐり逢い～

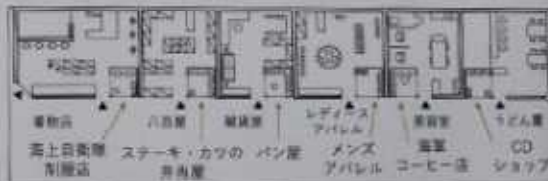
お目当ての店が目前にあっても、外観や人の目を気にして入れなかったり、店員さんの雰囲気や原因で再度来店しづらかったり、これはないだろうか？ハコミセがあれば、このような「人の動きや感情の妨げ」がなくなり、気軽にお目当てを楽しめる。お馴染みのお店だけでなく、いつもは行かないお店にも興味を持つきっかけになる。ハコミセはやがて呉市商店街の未来のトレードマークとなり、自由なめぐり逢いでにぎわう建築となっていく！

「ハコミセ」とともにめぐる商店街へようこそ。商店街では、美味しいものを食べ歩きたい、地域の人たちとコミュニティを築きたい、ここにしかないようないいものに出会いたい…といった、やって来る人たちのたくさんのお目当てでにぎわっている。そこで私たちは、「人の動きや感情を妨げない自由な空間」を「建築」と解釈し、「ハコミセ」という新しい建築がめぐる商店街をデザインした。いろんなお店を「巡るハコミセ」を、たくさんの人が「回り」、お目当てを見つけて新しい世界観に「めぐり逢う」。そんな3つの「めぐり」が行き交う商店街建築を提案する。

近年、広島県呉市では商店街の集客事業で市を活性化しようとする動きがある。これを踏まえて私たちは「人の動きや感情を妨げない自由な建築」のあり方を、ここで提案する商店街建築から共有したいと考えた。



平日の1区画(片側)の平面図1/200



土日の1区画の平面図1/200

